

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577
Mail- kana-gensuikyo@gol.com
発行日：2013.11.1 No. 5 3

70人参加でシンポジウム開催(10・26)

空母40年を検証



横須賀に米空母が配備され母港となったのは、一九七三年十月五日です。そして、原子力空母の母港になつてから五年が経ちました。空母ミッドウエーの横須賀「駐留」は、おおむね三年と承知している」と国会答弁した日本政府ですが、それから四十年が経過しました。これから先、いつまで続くかわかりません。

「ワンとごまかし」の横須賀空母母港四十年は、神奈川県民と首都圏住民にどのような結果をもたらしているのかを検証するシンポジウムが十月二十六日、横浜市波止場会館でおこなわれ七〇人が参加しました。

三人のシンポジストは、それぞれの切り口から四十年を振り返りながら、空母母港化の本質と害悪について明らかにし、参加者も討論に参加しました。

最大の核攻撃戦力となった。密約の数々、核持ち込みの重大疑惑、危険な覇権主義戦略の拡大を報告。



新原昭治さん

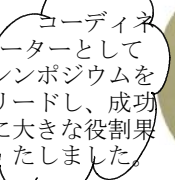


鈴木和弘さん

四十年を振り返りもたらされた数々の害悪と県民のたかひを報告しました。



田中由美子さん



小泉親司さん

コーディネーターとしてシンポジウムをリードし、成功に大きな役割果たしました。

世界で類例のない異常な横須賀米軍基地。原子力空母基地としての変貌と危険、国民のたかひを報告。

いま、地域原水協で・・・

【横浜市原水協】

横浜市原水協は、10月18日2013年度定期総会と世界大会報告会を開催しました。総会では、核兵器禁止アピール署名をはじめ当面する活動を強めることを討議し、役員体制と財政計画とともに確認しました。世界大会参加者から、今後できることをがんばりたいなど積極的な発言もありました。

【西さがみ原水協】

この夏、積極的に自治体訪問を実施し、世界大会の賛同金やメッセージも寄せられ、「原爆展」も新たに開催する自治体も生まれました。世界大会に、西さがみ原水協から参加した青年は、核兵器廃絶運動について、自分にできることをやりたいとその後の「6・9行動」に参加し続けています。

【横浜北部原水協】

10月5日、“緑区のジェット機墜落事故を忘れない”と毎年開かれている「平和のつどい」が開催されました。今年は、牛山医師をお招きして「放射能」問題に焦点を合わせた講演会をおこない100名を超える参加者がありました。神奈川県建設地域支部の建設フェスタにも参加し署名をおこないました。

「はだしのゲン」学校図書館での扱い問題で 県教委に申し入れ(10・31)

去る10月3日、神奈川県教育委員会が、県議会文教常任委員会、ある議員の質問に答えて、県教育長が、はだしのゲンは「過激な表現がある」「一定の配慮が必要」「今後の対応を検討する」と答え、学校図書館で閲覧制限にもつながりかねない重大問題となっています。この問題について、神奈川県労連、新婦人、母親連絡会、平和委員会、県原水協が連名の申し入れをおこないました。



申し入れは受け止めるとの回答。今後注視し運動も継続。